

English Reading & Writing I

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 講師		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
担当教員	柳谷 千枝子 講師、松田 竜宙 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 14 コマ 21 時間
期間	前期		演習 0 コマ 0 時間
			実習 0 コマ 0 時間

・学修方針（講義概要等）

英語が世界共通語としての役割を果たしている現在、国際社会の一員として、研究者のみならず医療人が英語を使用する機会がますます増えている。このコースでは、医療と健康に関する話題を英語で読むことで、効率的に内容を理解する力をブラッシュアップするだけでなく、医療の分野でよく用いられる表現や専門用語の理解を目指す。さらに、習得したスキルを用いて読み取った情報や自分の考えを英語で表現し、グループワークやディスカッションを通じて様々な関連トピックを深く考察する機会を設ける。こうした訓練を重ねることにより、将来、英語の記事や論文を自分で読み、医療現場や国際学会などで正確な情報や自分の意見を英語で発信する技能の向上を目指す。

・教育成果（アウトカム）

英語による知識の習得と、論理的に英語を読む・書く能力を養うことで、将来医学論文を読み、書くうえで必要な技能を身につけることができる。また、将来、チーム医療で役立つ適切な情報収集と提供のためのコミュニケーション能力を向上させることができる。（ディプロマポリシー: 1, 4, 6）

・到達目標（SBO）

1. 英語の音声を聴いて、英文の内容を理解できる。
2. 英文を正しく音読できる。
3. 英文の内容を日本語で説明できる。
4. 医療関連の重要表現が理解できる。
5. 学修した語彙・表現を用いて、伝えたいことを英文で表現できる。

・ 講義日程

(矢) 東 1-A 講義室、東 2-A 講義室

【講義】 【A グループは火曜日の 2 限、B・C グループは火曜日の 1 限】

月日	曜日	クラス時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/16	火	A グループ 2 限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>授業ガイダンス & 医学用語の基本 1</p> <p>1. 医学用語の接頭辞、語根、接尾辞について学修し、説明できる。</p> <p>2. 医学用語を構成する接頭辞、語根、接尾辞の要素を理解し、正しく分類してそれぞれの意味を答えることができる。</p> <p>3. 医学用語の様々な種類の接頭辞、語根、接尾辞の意味について理解し、練習問題を通して応用できる。</p> <p>事後学修：講義資料を復習する。</p>
		B・Cグループ 1 限			
4/30	火	A グループ 2 限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 1: What matters most?</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Pre-reading Questions (p. 8) に対する答えを各問 20words 程度でまとめ、WebClass に提出する。</p>
		B・Cグループ 1 限			
5/7	火	A グループ 2 限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 1: What matters most?</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Health-related Topics (p. 12)を読んで概要をまとめる。</p>
		B・Cグループ 1 限			

5/14	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 2: 'Being dependable' matters</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Pre-reading Questions (p. 14)に対する答えを各問 20words 程度でまとめ、WebClass に提出する。</p>
		B・Cグループ 1限			
5/21	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 2: 'Being dependable' matters</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Health-related Topics (p. 18)を読んで概要をまとめる。</p>
		B・Cグループ 1限			
5/28	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 3: 'Being optimistic' matters</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Pre-reading Questions (p. 20)に対する答えを各問 20words 程度でまとめ、WebClass に提出する。</p>
		B・Cグループ 1限			
6/4	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 3: 'Being optimistic' matters</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Health-related Topics (p. 24)を読んで概要をまとめる。</p>
		B・Cグループ 1限			

6/11	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 4: 'Reaching out' matters</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Pre-reading Questions (p. 26)に対する答えを各問 20words 程度でまとめ、WebClass に提出する。</p>
		B・Cグループ 1限			
6/18	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 4: 'Reaching out' matters</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Health-related Topics (p. 30)を読んで概要をまとめる。</p>
		B・Cグループ 1限			
6/25	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 6: 'Showing commitment' matters</p> <p>1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。</p> <p>2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。</p> <p>3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。</p> <p>4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学習：Pre-reading Questions (p. 38)に対する答えを各問 20words 程度でまとめ、WebClass に提出する。</p>
		B・Cグループ 1限			

7/2	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 6: ‘Showing commitment’ matters</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。 3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。 4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：Health-related Topics (p. 42) を読んで概要をまとめる。</p>
		B・Cグループ 1限			
7/9	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 9: ‘Communicating with a smile’ matters</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。 3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。 4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：Pre-reading Questions (p. 56) に対する答えを各問 20words 程度でまとめ、WebClass に提出する。</p>
		B・Cグループ 1限			
7/16	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>Chapter 9: ‘Communicating with a smile’ matters</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の物語のプロットを意識しながら正しい発音で本文を音読し、内容や要点を説明できる。 2. 音声を聴いて英文の内容を把握し、説明できる。 3. 物語の背景や患者の心理描写を読解できる。 4. 本文の重要な語彙や医療用語を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：Health-related Topics (p. 60) を読んで概要をまとめる。</p>
		B・Cグループ 1限			
7/23	火	Aグループ 2限	英語分野	柳谷 千枝子 講師 松田 竜宙 助教	<p>サマリーおよびパラフレーズの技法 & Review</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アカデミック・ライティングにおけるパラフレーズの必要性和その方法について理解し、英語で応用できる。 2. アカデミック・ライティングのサマリーの書き方について学び、英語で表現できる。 <p>事後学習：前期に学習した Health-related Topics を題材にしてサマリーまたはパラフレーズを作成し、提出する。</p>
		B・Cグループ 1限			

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	"What Matters Most? (総合英語：医療従事者として最も大切なこと)"	Douglas Paauw	三修社	2019

・成績評価方法

1. 定期試験：70%
2. 提出物（リアクションペーパー、WebClass 上の課題、確認テスト含む）：25%
3. 参加態度（予習状況、授業中の発言、ディスカッション等での積極的姿勢など）：5%

・特記事項・その他

科目履修認定について：過去に受験した外国語能力試験の成績が、所定の基準を満たしている場合には、本科目の単位に読み替えることができる。

1. 学生を出席番号順に3グループ（Aグループ、Bグループ、Cグループ）に分け、A・Cグループを松田、Bグループを柳谷が担当する。
2. クラス／時限／講義室
Aグループ（松田クラス）：2限（矢）東1-A講義室
Bグループ（柳谷クラス）：1限（矢）東2-A講義室
Cグループ（松田クラス）：1限（矢）東1-A講義室
3. 関連トピックについてペア・グループワーク、ディスカッションの機会を設けることがある。
4. 事前学修として指定された課題を期日までにWebClassに提出する。
5. 適宜、英語で記述する課題を課し、添削後コメントを付して返却する。
6. 確認テストを実施した場合は採点後に返却・解説する。

7. 事前・事後学修および学修時間

学修内容の定着を図るため、あらかじめ単語や表現の意味を調べ、本文の概要をまとめた上で講義に出席すること。事前学修の時間は最低40分を要する。事後学修として復習する際は、当日の講義内容、特に教員が強調して説明した重要事項が理解できているかどうかを確認し、疑問点は早めに解決すること。なお、事後学修の時間も最低40分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC（東芝）	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（富士通）FMV-N F 40W	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（Panasonic）R7/U7600	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（Apple）NA877J/A	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC（SONY）VGC-LN52JGB	1	資料作成、講義プレゼン用

講義	ノート型 PC (NEC) PC-YV22AEDAMBL6	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	PC (Apple) iMac27/3.20GHzCorei3	1	資料作成
講義	ノート型 PC (Panasonic) CF-J9/LUDDDS	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	iPod (Apple)	5	リスニング、課外自習等
講義	CD /DVD プレーヤー	4	リスニング、DVD 教材視聴覚用
講義	ノートパソコン (Mac Book Air CTOZOJK)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	HD ビデオカメラ式 (Canon・M52)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン (富士通・PH50/E)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (富士通・MH30/G)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	デスクトップパソコン (iMac27・ZOJN CTO Education)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (Panasonic・CF-J9LLUDDDS)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	液晶プロジェクター (SONY・VPL-EW7)	1	講義プレゼン用